

RFC 6212
Authentication-Results Registration
for Vouch by Reference Results

概要

- RFC 6212
 - Authentication-Results Registration for Vouch by Reference Results
- **概要**
 - Authentication-Results におけるVouch by Reference 応答結果の登録

- はじめに

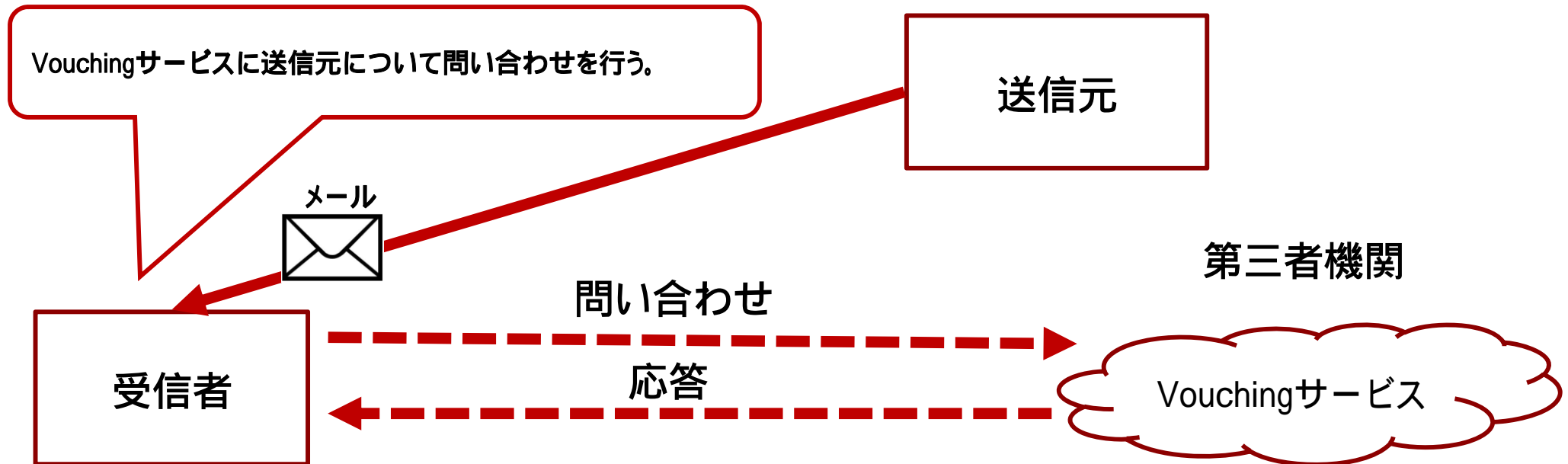
RFC 5451は、“機械可読フォーマットで認証結果を表現する”
メールの新しいヘッダーを定義した。

また、現在では Vouch By Reference [VBR] と呼ばれるドメインレベルの
信頼評価への提案が公表され、浸透され始めている。

以上を踏まえ、本RFCでは“ヘッダー内の注釈にてVBRの応答結果を中継することのできる”
プロパティを記載している。

・ Vouch By Reference [VBR] について

Vouch By Reference [VBR] は、"第三者機関がそのメールが正当な送信元からのものであると認めるか否か"を判定するために、受信者が"vouching" サービスに問い合わせるメカニズムを提案した。



• “Email Authentication Methods” に追加する項目

vbr メソッド

上記メソッドに紐づく "header.md" プロパティと "header.mv" プロパティ

"header.md" が存在する場合、その値は VBR 問い合わせのドメイン名でなければならない。(MUST)

"header.mv" が存在する場合、その値は "header.md" ドメイン用の

"voucher" として問い合わせされた DNS ドメイン名でなければならない。(MUST)

[VBR] では、対象ドメインの選択および "vouchers" のリストにおいて、メッセージ内の "VBR-Info" ヘッダーの項目を無視したメカニズムを許容する。

例え、内部ポリシーに基づいた "VBR-Info" ヘッダーが存在しない場合でも、サーバーは VBR 問い合わせを実行することができる。この場合においても、その応答を中継するために、"Authentication-Results" ヘッダーを作成してもよい。(MAY)

- “Email Authentication Result Names”へ追加する項目

応答コード	意味
none	メッセージ内に有効なVBR-Infoヘッダーが存在しない、あるいは問い合わせされたドメイン名が特定できない。
pass	VBR 問い合わせは完結し、“vouching” サービスは肯定応答を返した。
fail	VBR 問い合わせは完結したが、“vouching” サービスは肯定応答を返さなかった、あるいはメッセージに異なる“mc”値をもつVBR-Infoヘッダーが複数存在した。(RFC 5518を参照)
temperror	VBR 問い合わせは試行されたが、一時的なエラー(DNSの一時エラーなど)により問い合わせが完結しなかった。後の試行で最終結果が得られる可能性がある。
permerror	VBR問い合わせが試行されたが、(DNSの永続エラーなどの)一時的でない”エラーにより完結しなかった。後の試行で最終結果が得られる可能性は少ない。

- **セキュリティ考察**

セキュリティ 考察は、RFC 5451 及び RFC 5518 の”セキュリティ 考察” 項に従う。

・VBR 問い合わせ応答を記載しているヘッダー例

Authentication-Results: mail-router.example.net;
dkim=pass (good signature) header.d=newyork.example.com
header.b=olNEO8hg;
vbr=pass (voucher.example.net)
header.md=newyork.example.com
header.mv=voucher.example.org

Received: from newyork.example.com
(newyork.example.com [192.0.2.250])
by mail-router.example.net (8.11.6/8.11.6)
for <recipient@example.net>
with ESMTP id i7PK0sH7021929;
Fri, Feb 15 2002 17:19:22 -0800

DKIM-Signature: v=1; a=rsa-sha256; s=rashani;
d=newyork.example.com;
t=1188964191; c=relaxed/simple;
h=From:Date:To:VBR-Info:Message-Id:Subject;
bh=sEu28nfs9fuZGD/pSr7ANysbY3jtdaQ3Xv9xPQtS0m7=;
b=olNEO8hgn/gnunsg ... 9n9ODSNFSDij3=

From: sender@newyork.example.com
Date: Fri, Feb 15 2002 16:54:30 -0800
To: meetings@example.net
VBR-Info: md=newyork.example.com; mc=list;
mv=voucher.example.org
Message-Id: <12345.abc@newyork.example.com>
Subject: here's a sample

DomainKeys Identified Mail (DKIM) で署名され、VBR-Info ヘッダーも含んでいるメッセージを例としている。受信時に、“md=” 項と“d=” 項の照合、DKIM署名の検証、VBR問い合わせが実施されたことが確認できる。認証サービス voucher.example.org が送信者が信用できるものであると提示したため、配送前に追加される Authentication-Resultsに“pass”の応答が含まれている。